

教科名	国語		学年	3	教科書 補助教材 等	「読解・考察・まとめができる現代文記述問題攻略ノート習得編」数研出版）・ 「大学入試 国語頻出問題1200 四訂版」（いいずな書店）		
科目名	B群必修選択 現代文B		単位数	2				
科目担当者	渡辺 久美子							
科目の到達目標	言葉を通じて自分のものの見方や考え方を広げ深めようとするとともに、考えを伝えあうことで自己を表現し他者の心と共感するなど、互いの存在について理解し尊重しようとする態度を養う。							
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考		
一 学 期	4	・オリエンテーション ・課題作文① ・テキスト演習	テーマ型・資料型小論文のポイントを理解させ、社会への視野を広げる。		4			
	5	・推薦函書の紹介文 ・課題作文② ・テキスト演習	推薦函書のPOP作成を通して、短文で自分の思いを伝える力を身につけさせる。		6			
	6	・井草高校パンフレット作成 ・課題作文③ ・テキスト演習	課題文型小論文のポイントを理解させ、論理的文章を読み解く力を養う。また、パンフレット作成を通して、他者の心を引き付ける表現力を身につけさせる。		6	確認テスト		
	7	・課題作文④	志望理由書や自己PRの書き方について理解させ、自己の洞察を深めさせる。		2			
二 学 期	9	・プレゼンテーション① ・課題作文⑤ ・テキスト演習	SDGsの目標と事例について理解させ、興味のある分野について調べさせる。		4			
	10	・プレゼンテーション② ・課題作文⑥ ・テキスト演習	グループでプレゼンテーションの方法や工夫について考えさせる。		6			
	11	・プレゼンテーション③ ・課題作文⑦ ・テキスト演習	SDGsの実現に向けた提言をグループごとに発表させ、クラス全体で共有させる。		6	確認テスト		
	12	・課題作文⑧ ・テキスト演習	読解型小論文におけるデータ（グラフや表など）を読み解くポイントを理解させ、情報を根拠に考察する力を養う。		4			
三 学 期	1							
	2							
	3							
年間授業時間数計	38		1学期	18	2学期	20	3学期	0
学習上の留意点								
評価の観点					評価方法			
関心・意欲・態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。					確認テスト、レポート課題、授業への取り組む姿勢等を踏まえ、総合的に評価する。		
話す・聞く能力	目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して伝え合うことができる。							
書く能力	自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現の仕方を工夫することができる。							
読む能力	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。							
知識・理解	必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにすることができる。段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。							